

昇仙峡地域活性化推進協議会について（概要）

令和2年8月7日（金）

1 設立の目的

「昇仙峡リバイバルプラン」の推進により、昇仙峡とその周辺地域の観光振興を図るとともに、日本遺産という資源を活用し、地域の魅力向上に取り組み、郷土への愛着と誇りの醸成、観光関連産業と地域の活性化につなげることを目的に、民間団体と行政が一体となり、事業計画の進捗管理を行うため、昇仙峡地域活性化推進協議会を設立する。

2 協議会委員及び事務局

昇仙峡観光協会、（一社）甲府市観光協会、（公社）やまなし観光推進機構、湯村温泉旅館協同組合、甲府ホテル旅館協同組合、山梨県、甲斐市、甲府市の8団体の代表者を委員とする。

会長に甲府市長、副会長に甲斐市長を充て、監事2名を置くこととし、事務局は、甲府市産業部内に設置する。

3 協議会の所掌事項

（1）昇仙峡とその周辺地域の観光振興を図り活性化するための施策に関すること。

（2）日本遺産を総合的に活用する次に掲げる取組に関すること。

ア 人材育成事業

イ 普及啓発事業

ウ 調査研究事業

エ 情報コンテンツ作成事業

オ 活用整備事業

（3）その他協議会の目的を達成するために必要なこと。

4 事業期間

事業期間のイメージ

令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度～令和7年度 (2023年度～2025年度)
文化庁による補助事業期間（最大3年間）			
毎年度、進捗状況等を文化庁に報告			

5 その他

協議会の円滑な運営を図るための下部組織として、幹事会を設置する。

また、必要に応じてワーキンググループを設置する。

昇仙峡地域活性化推進協議会 設立趣旨について

昇仙峡の観光振興を図るためには、事業者、行政、地域住民が課題認識と課題解決方法を共有し、実行していく実施体制を構築していく必要があります。

このため、令和元年度に、観光事業者や有識者で構成する「昇仙峡リバイバル会議」において、課題抽出に必要な調査・分析と対応策を検討するとともに、昇仙峡の観光活性化対策について、認識や方向性の統一を図り、計画的な対策実施のためのロードマップとして「昇仙峡リバイバルプラン」を策定いたしました。

また、本年6月に『甲州の匠の源流・御嶽昇仙峡～水晶の鼓動が導いた信仰と技、そして先進技術へ～』のストーリーが日本遺産に認定されたことに伴い、昇仙峡とその周辺地域の観光振興に大きな追い風となることが期待されています。

そこで、「昇仙峡リバイバルプラン」の推進や、日本遺産という資源を活用し、地域の魅力向上に取り組み、郷土への愛着と誇りの醸成、観光関連産業と地域の活性化につなげることを目的に、民間団体と行政が一体となり、事業計画の進捗管理を行うため、昇仙峡地域活性化推進協議会を設立するものであります。

昇仙峡地域活性化推進協議会名簿

〈 協議会 〉

(順不同、敬称略)

N o .	団 体 名	役 職
1	甲府市	市長 樋口 雄一
2	甲斐市	市長 保坂 武
3	山梨県	観光文化部長 中澤 宏樹
4	昇仙峡観光協会	会長 芦澤 卓夫
5	(一社) 甲府市観光協会	会長 雨宮 正英
6	(公社) やまなし観光推進機構	理事長 仲田 道弘
7	湯村温泉旅館協同組合	理事長 笹本 健次
8	甲府ホテル旅館協同組合	理事長 青柳 文人

〈 幹事会 〉

N o .	所 属	役 職
1	甲府市観光課	課長 深井 和孝
2	甲府市歴史文化財課	課長 田中 浩
3	甲斐市商工観光課	課長 堤 貞治
4	甲斐市生涯学習文化課	課長 大畠 正之
5	山梨県観光資源課	課長 三井 博志
6	山梨県文化振興・文化財課	課長 河野 公紀
7	昇仙峡観光協会	事務局長 須山 忠
8	(一社) 甲府市観光協会	専務理事 七沢 福富
9	(公社) やまなし観光推進機構	事務局長 土屋 淳
1 0	湯村温泉旅館協同組合	理事 浅川 貴
1 1	甲府ホテル旅館協同組合	理事 中澤 大

昇仙峡地域活性化計画（案）【令和2～4年度】

○地域文化財総合活用推進事業（補助率10/10）：人材育成事業、普及啓発事業、調査研究事業

※令和3年度（2021年度）以降の事業は、予定

分 類	事業案	事業概要	令和2年度（2020年度）			令和3年度（2021年度）			令和4年度（2022年度）		
			事業費	国庫補助金	協議会負担	事業費	国庫補助金	協議会負担	事業費	国庫補助金	協議会負担
人材育成事業	① 昇仙峡ガイド養成事業	国内外からの来訪者が、構成文化財や昇仙峡の持つ歴史などを分かり易く理解し、周遊できるよう資料整理、多言語対応のガイドブック作成を行い、地域住民等による有償ガイドを育成する。	152	152	0	○			○		
普及啓発事業	② 構成文化財再発見事業	構成文化財である①水晶②研磨技術とジュエリー産業③金櫻神社と羅漢寺④御嶽新道と文人などのそれぞれの題材ごとに、調査を行い、市民がその歴史や背景を理解し、県外や次代へ語り継げるよう、市民や子どもを対象とした講座や講演会、体験、見学ツアー、シンポジウムなどを開催する。				○					
	③ 日本遺産への来訪者を増やすためのモニターツアーの実施（ファムトリップ）	昇仙峡の構成性文化財などを、年齢や目的、国籍などの属性ごとに周遊するコースなどを造成し、国内外の旅行事業者を対象としたモニターツアーを実施し、ツアー商品の造成を行う。				○					
	④ 日本遺産への来訪者を増やすためのモニターツアーの実施（学校向け社会見学ツアー）	昇仙峡を社会科見学のコースとして市内小・中学生が訪れるように、年齢にマッチしたテーマやコースを設定し、小・中学校の教諭等を対象としたモデルツアーを実施し、普及啓発を行う。	①文化芸術振興費補助金 補助率：10/10 上限額：10,000千円			○					
	⑤ 日本遺産を理解するためのイベントの実施（研磨体験事業）	「宝石のまち・甲府」の礎となった研磨技術を広く後世に伝える研磨技術を体験する事業を開催する。				○			○		
調査研究事業	⑥ 昇仙峡総合学術調査	昇仙峡地域の地質調査をはじめ、自然、民俗芸能、文化財、信仰等について、幅広く学術的な知見からの総合的な調査を実施する。	3,095	3,095	0	○			○		
	⑦ 未指定文化財の調査研究（修験道に関する更なる研究）	修験道の元である蔵王権現と金櫻神社、旧羅漢寺に関する調査研究は進んでおらず、更なる文献調査、遺構調査を行う。				○					
	⑧ 古道に関する調査研究	覚円峰の上部を通る江戸時代の生活道路など、昇仙峡における複数ルートの調査研究を進め、古道の歴史を探るとともに、新たな観光ルートへの活用を検討する。				○					
	⑨ 嗜好性調査（観光客の動向調査）	山梨県を訪れる国内外の観光客が、どのようなルートで来訪し、訪問をしているのか行動パターンを分析することにより、ターゲットの明確化、効果的な情報発信などの戦略を立てることが可能となる。	8,646	8,646	0						
	⑩ その他（ロードバイクやマウンテンバイク等サイクリングコースの調査研究）	新たな観光アクティビティとして、ロードバイクやマウンテンバイクのコース等を研究して、新たなツアー商品開発の参考とする。							○		
	⑪ その他（新たなアクティビティの調査研究）	昇仙峡の特徴である巨岩、奇岩、清流を体験できるキャニオニングやシャワークライミング、ロッククライミング、ラフティング等新たなアクティビティの導入可能性に関する調査研究を行う。							○		
	⑫ その他（昇仙峡地帯のブランディング化に向けた調査研究）	構成資産の景観と親和性のあるデザイン性、視認性に優れたサイン設置に向けた調査研究や、昇仙峡のブランド力（価値、強み）を確立するための手法を研究し、広報、誘客事業に反映する。				○					
計			11,893	11,893	0	-	-	-	-	-	-

○ 観光拠点整備事業（補助率1/2：特に必要と認められる場合は2/3を上限）：情報コンテンツ作成事業、活用整備事業

※令和3年度（2021年度）以降の事業は、予定

分 類	事業案	事業概要	令和2年度（2020年度）			令和3年度（2021年度）			令和4年度（2022年度）		
			事業費	国庫補助金	協議会負担	事業費	国庫補助金	協議会負担	事業費	国庫補助金	協議会負担
情報コンテンツ作成事業	⑬ 多言語パンフレットの作成	調査研究事業の成果（構成資産に関する新たな事実や散策ルート等）を反映した多言語パンフレット等を作成する。	1,895	1,263	632				○		
活用整備事業	⑭ 便益施設の設置（トイレのリニューアル）	トイレをウォシュレットを完備した洋式トイレにリニューアルする。	6,000	4,000	2,000	○			○		
	⑮ その他（構成資産の解説表示板、案内表示板の整備）	昇仙峡ブランディング調査研究の成果を活用し、統一感のあるデザインや字体によるサイン、看板類、解説板のリニューアルを行う。							○		
	⑯ 便益施設の設置（散策路等におけるベンチ等の設置）	昇仙峡エリアの散策道は延長5キロメートルを超え、休憩施設としてベンチ等を設置する。	1,320	880	440	○			○		
計			9,215	6,143	3,072	-	-	-	-	-	-

事業費計			令和2年度（2020年度）			令和3年度（2021年度）			令和4年度（2022年度）		
			事業費	国庫補助金	協議会負担	事業費	国庫補助金	協議会負担	事業費	国庫補助金	協議会負担
			21,108	18,036	3,072	-	-	-	-	-	-